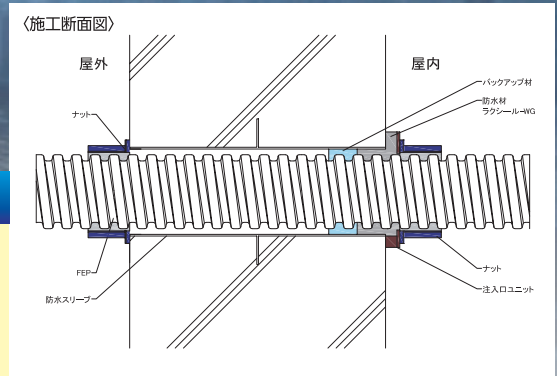


地中壁貫通部の防水材は押し込みから流し込みの時代へ!

新築建築物の耐水化・浸水対策は

FKT工法に お任せください!



防水性を高めるFKT工法の特長

- ①パイプ内防水:FEPを他の種に切り替えることなく
地中壁の貫通孔から建屋内に引き込む
- ②貫通孔内防水:貫通孔内の空隙にラクシール-WGを流し込む
- ③管路口の防水:FEP管口には止水パテ剤「とめ太郎」を充填する

使用材料

2液混合液状樹脂・硬化型難燃防水材

ラクシール™-WG



■特長 ●混合初期は液状で流動性がよく複雑な形状部分にも充填可能。●必要量だけ計量して使うこともできます。●ゴム状に硬化し密着するので高い防水性能が得られます。●水密性はラクシール-WG50mm充填で0.1MPaです。(鋼管を使った検証値です)



■製品ラインナップ

品番	内容	A液(主剤)	B液(副剤)	混合比(質量比)
RSEWG5	5kgセット	4.17kg	0.83kg	A液:B液 5:1
RSEWG20	20kgセット	16.67kg	3.33kg	

※缶ごと全量を攪拌する場合は電動攪拌機をお使いください。

FEP80用、FEP100用

FEP貫通部止水キット

FEPとスリーブ内の空隙にラクシール-WGを簡単に注入できる部品キットです。

■構成
注入ユニット、ナット2個、バックアップ材、竹ヘラ、攪拌用カップ、不乾性パテ



■基本ラインナップ

品番	内容	適用貫通孔内径	充填厚50mmのラクシール-WG充填量目安
STW80	FEP80スパイラル管用	125Φ	1,140g(A液950g:B液190g)
STW100	FEP100スパイラル管用	150Φ	1,200g(A液1,000g:B液200g)

※ラクシール-WGは別途お求めください。

※キットサイズ以外でも受注生産で対応可能な場合がございますのでお問い合わせください。

※ナット形状はFEPサイズにより異なる場合がございます。

作業手順

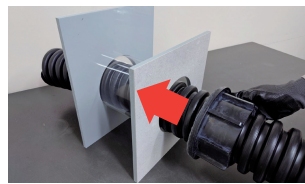
作業手順動画はコチラ▶



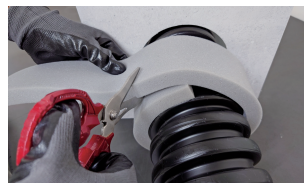
屋外側作業



FEPにナットを取り付け貫通孔へ挿入



屋内側作業



バックアップ材の切断・挿入



屋内側作業



注入口の取り付け



注入口の周囲は防水材の漏れ防止のため付属のパテで塞いでください(硬化後は撤去可能)



ラクシール-WG(防水材)の充填

充填時の注意点

○注入口に防水剤を流し込む際はカップを壁と並行にして注入してください。(壁と垂直にするとカップを傾ける事が困難です)○空隙内の空気を抜くように注入口の端から少しずつ注入してください。○充填中に防水材が漏れ出した場合は付属のパテを漏れている場所に押し付け漏れを止めてください。○防水材が硬化する(24時間後)までは配管や注入口を動かさないでください。

お問い合わせ・ご用命は販売店までお願いします。

- ・水密性は社内検証値であり保証値ではございません。
- ・本工法及び製品は完全止水や浸水被害の大幅低減を保証するものではありません。
- ・製品の仕様は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

CAD図面・各種資料
ホームページで公開
しております。



古河エレコム